

# 河川整備計画策定のための 水質環境対策について

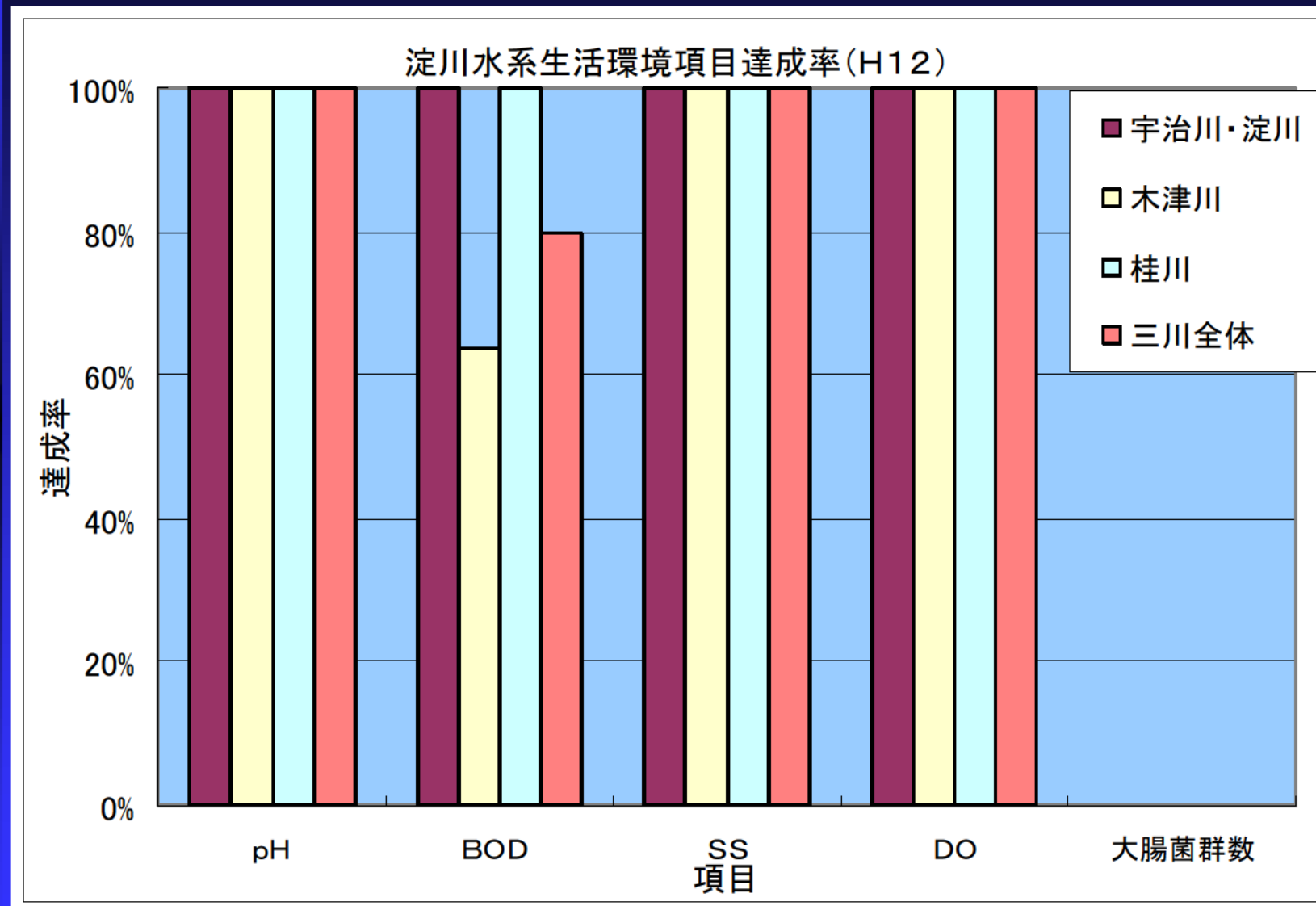
平成14年3月14日

近畿地方整備局

## 水質の課題

- ✎ 環境基準では、大腸菌を除き概ね達成しているものの一般の人々にとって水質がよくなったという実感がわかない。
- ✎ 泳げる水質にしてほしい。
- ✎ 河川管理者において、環境基準に変わる一般の人にわかりやすい水質指標を現在検討中である。
- ✎ 水質の改善方策は、異なる行政機関が各々実施しており、系統立てた対策が出来ていないのが現状である。
- ✎ 海への影響も考えるべきである。

# 生活環境の保全に関する環境基準



出典：平成12年一級河川の水質現況(国土交通省とりまとめ)

## 生活環境の保全に関する環境基準

- ✎ 水素イオン濃度 (pH)  
全ての区間で達成しています。
- ✎ 生物化学的酸素要求量 (BOD)  
達成している区間が多い。
- ✎ 浮遊物質 (SS)  
全ての区間で達成しています。
- ✎ 溶存酸素量 (DO)  
全ての区間で達成しています。
- ✎ 大腸菌群数  
全ての区間で達成できていません。

# 人の健康の保護に関する環境基準

カドミウム、総水銀、PCBをはじめ26項目が指定されています。



## 淀川水系の水質の現状 【健康項目(平成12年度)】

ほとんどの環境基準地点で、健康項目の基準値を満足しています。

(平成11年に新たに基準に追加されたほう素が海水の影響で基準を超過したことがあります。)

出典:平成12年一級河川の水質現況

## 水質に対する意見

### ✍ 淀川環境委員会の意見

- ✍ 環境ホルモンや微量有害物質の対策が必要
- ✍ 水面利用者がおよぼす水質への影響について啓発が必要

## 水質に対する意見

### ✎ 流域委員会の委員の意見

- ✎ 水上バイクによるMTBEのような新しい汚染物質に対する対策が必要
- ✎ 24時間調査等きめ細やかな調査が必要
- ✎ リアルタイムの水質の情報提供
- ✎ 住民の判断基準は、環境基準等の数値でなく五感に感じる事
- ✎ 鮎が住めるとか、鯉しか住めないというわかりやすい水質の表現に
- ✎ 現状は様々な水利用者がそれぞれの基準で判断
- ✎ 水質を良くするには使用水量を減らすことが必要

## 水質に対する意見

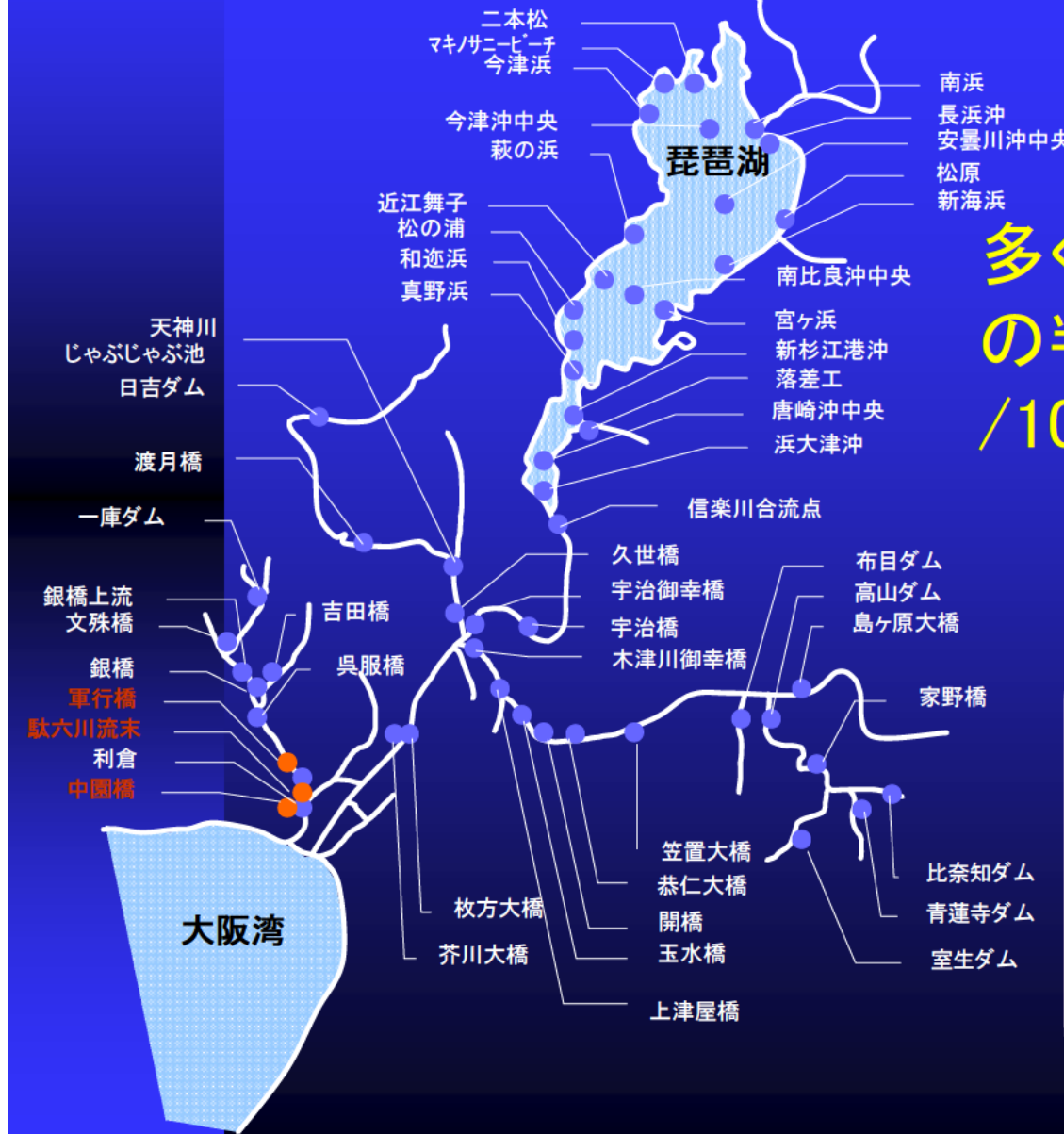
### ✍ 一般意見

- ✍ 魚が住め、泳げる水質にしてほしい
- ✍ 人が豊かな生活を求めるほど、水質に対する負荷が大きくなる
- ✍ 河川水質の浄化
- ✍ 水質悪化は自己中心的な生活による
- ✍ ゴルフ場などの農薬の規制を考えるべき



# 淀川水系の水質の現状

## 【糞便性大腸菌群数(平成13年7月)】



多くの測定地点で、水浴場の判定基準値(1000個/100ml)を満足しています。

**凡例**

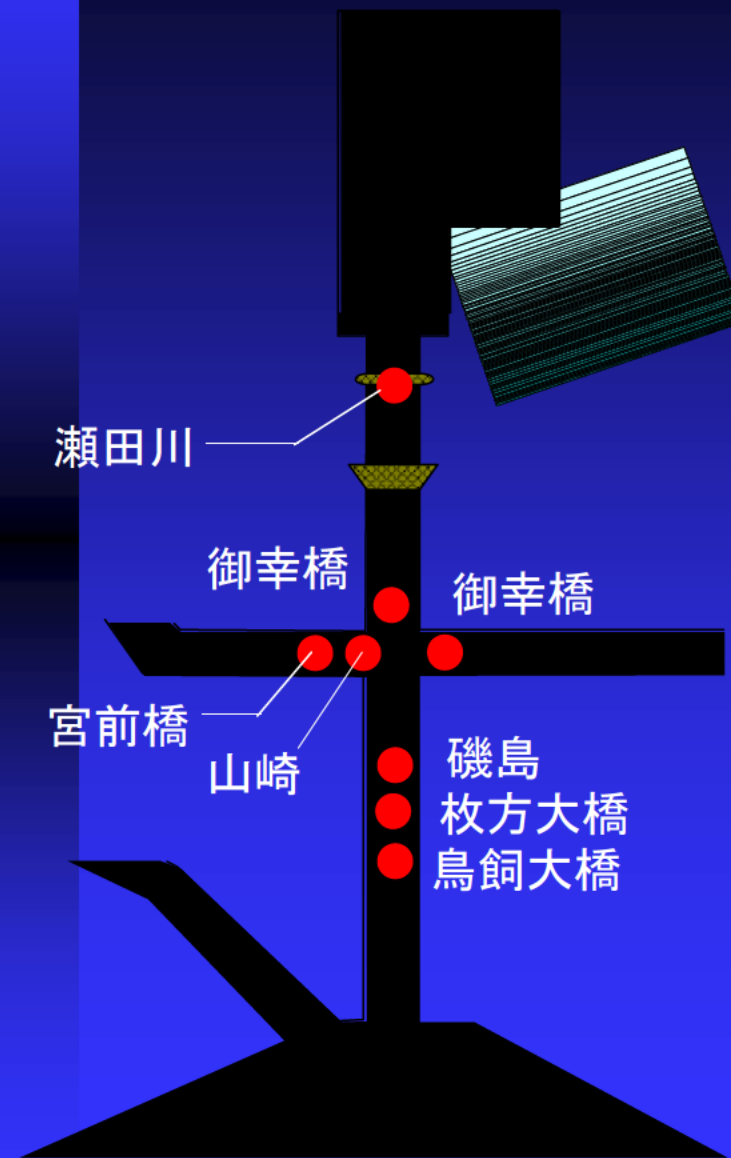
- : 水浴場判定基準可以上
- : 水浴場判定基準不適

**水浴場の判定基準(環境庁)**

適	不検出～100個/100ml以下
可	～1000個/100ml以下
不適	1000個/100mlを超える

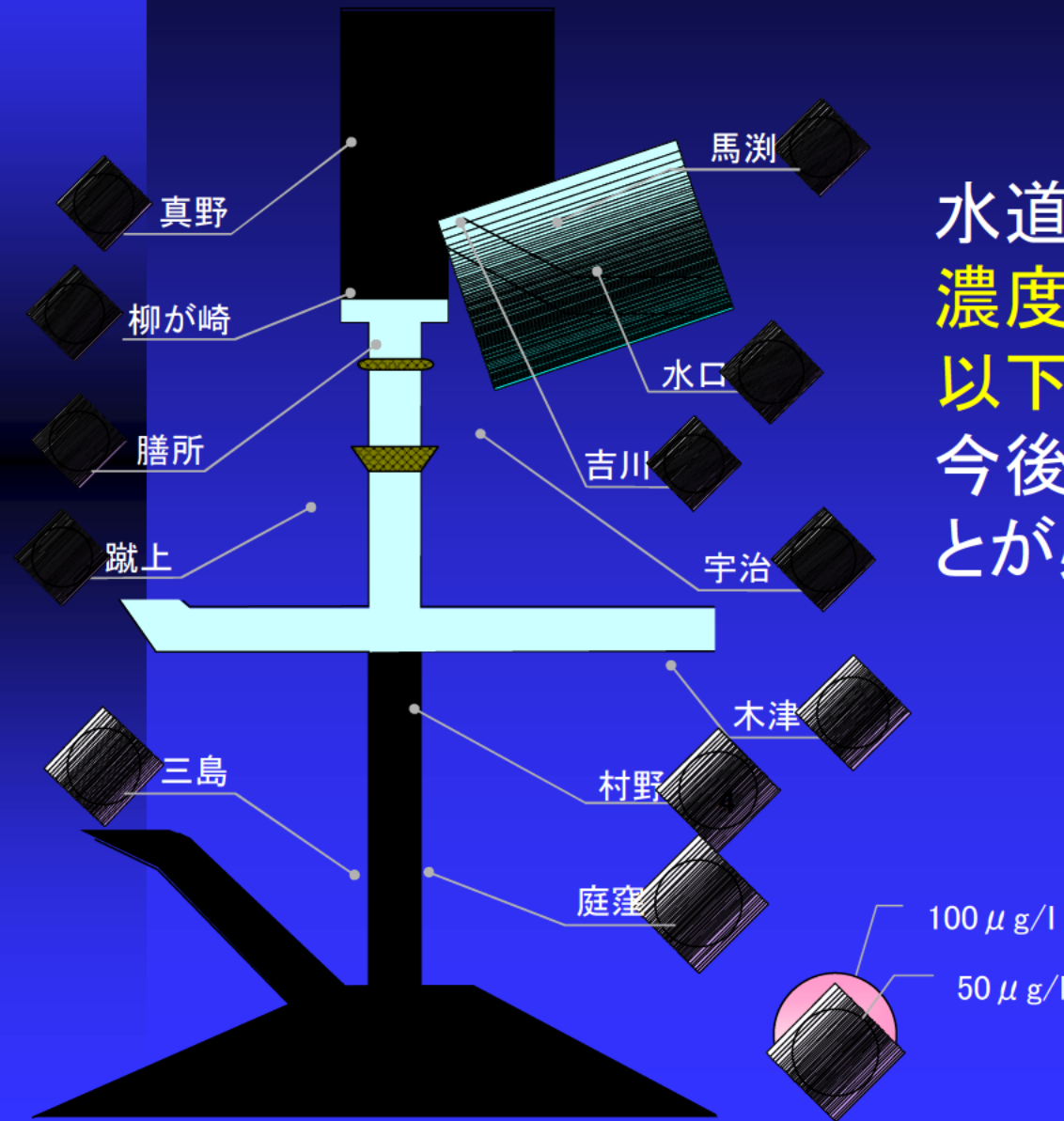
出典: 国土交通省、滋賀県測定データ

## 淀川水系における農薬の検出状況(平成11年度)



検査対象になっている農薬は72ありますが、上流から下流まで全ての農薬において基準値以下です。

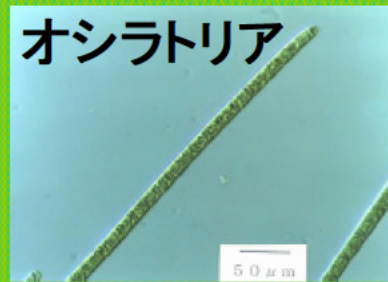
# 淀川水系の浄水場における 総トリハロメタンの検出状況(平成9年度)



水道原水のトリハロメタン濃度は、水道水質基準値以下(100 μg/l)ですが、今後の動向に注視することが必要です。

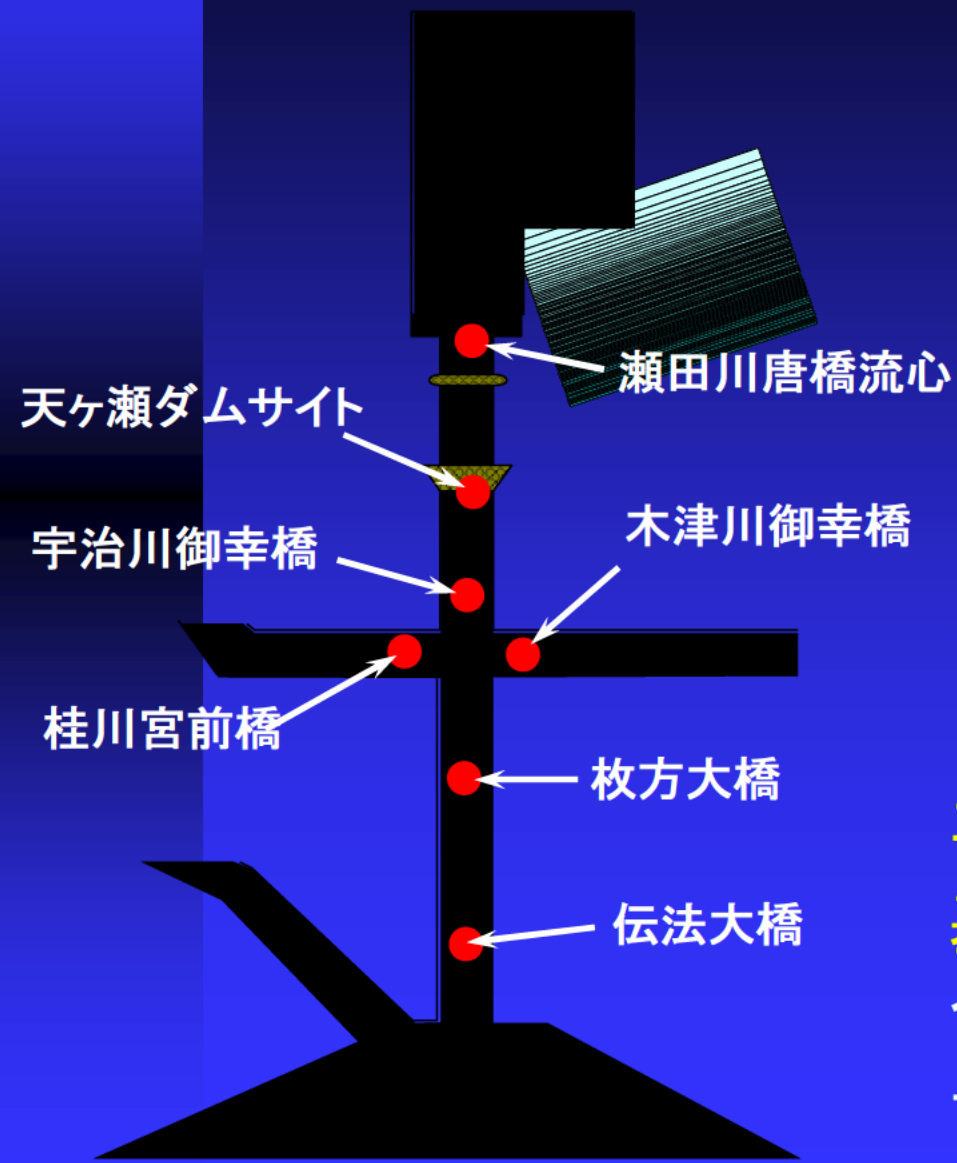
## 琵琶湖や上流のダム貯水池で発生する藻類の影響

アオコや淡水赤潮を発生



カビ臭や異臭味の発生を招く

## 淀川水系のダイオキシン濃度 【河川水及び河床のダイオキシン濃度】



**環境基準値**  
 水質 1pg/L  
 土壌 1000pg/g

	1回目	2回目	底質
瀬田川唐橋流心	0.097		
天ヶ瀬ダムサイト	0.083		
宇治川御幸橋	0.088		34
木津川御幸橋	0.18		29
桂川宮前橋	0.2		0.2
枚方大橋	0.13		4.1
伝法大橋	0.087	0.093	22

平成11年度調査では環境基準を満足しています。  
 今後も継続して調査を行う予定です。

出典：淀川工事事務所

## 淀川水系の環境ホルモン物質(平成10年度)



殆どの調査地点で検出対象物質11種中以下の3物質が検出されている他、地点によっては他の環境ホルモン物質も検出されています。

17β-エストラジオール  
ノニルフェノール  
ビスフェノールA

\*基準値は現在なし

出典:BYQ水環境レポート

# 河川管理者が検討中の水質指標

## 透明度

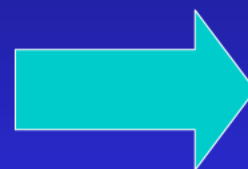


## 琵琶湖の総合保全対策

### 琵琶湖総合保全連絡調整会議

(H11. 6設置)

- 国土庁
- 環境庁
- 厚生省
- 農林水産省
- 林野庁
- 建設省



琵琶湖の総合的保全を円滑に推進することを目的として関係6省庁による連携体制ができています。



# 河川整備計画策定のための水質環境対策の論点(基本方向について)(案)

<b>従来型の水質環境対策</b>	
<b>対策の考え方</b>	<p>「川への排水のうち、あまりにも汚いものは規制する」ための環境基準を設定した水質対策。</p> <p>しかし、その対策は行政分掌毎に実施。(河川、下水道、事業者規制、農業等による縦割り対策)</p>
<b>対策の進め方</b>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p style="text-align: center;">(対策の順序)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     要らないもの、汚いものを川に流すが、あまり汚いものは規制する                 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     環境基準に対して、河川への汚濁負荷量を削減 (例えばBOD75%値に対して削減量を設定)                 </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     数値さえ満足すれば水質は安全と過信                 </div> </div> <div style="width: 35%; font-size: 2em;">}</div> <div style="width: 60%;"> <p style="text-align: center;">(整備内容の具体例)</p> <p>【公衆衛生を確保】 生活排水の分別排水、下水道整備 等</p> <p>【公共水域の水質保全】 合成洗剤の非使用、中水道の整備、工場からの排水規制、農薬の抑制、有機栽培の活用、ため池の活用 等</p> </div> </div>
<b>目標基準の決定</b>	<p>環境のナショナルミニマムとして環境基準を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①河川の汚濁レベルに応じ、限定された項目で設定             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活環境の保全、人の健康保全に関する基準</li> </ul> </li> <li>②低水流量時(365日の内275日を満足)を対象 (環境基準達成という包括的な対策に限界がきている)</li> </ul>

# 河川整備計画策定のための水質環境対策 の論点(基本方向について)(案)

転換後の水質環境対策	
対策の考え方	「川に生かされる」との観点から、「川の浄化能力以上のものは流さない」へ転換。 「水に流す」という生活スタイルの変更。また行政による対応だけでは限界との認識から、家庭や事業所からの排水のみならず、農業廃水や市街地からの排水等を含む「流域全体で対応していくシステム」の構築
対策の進め方	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(対策の順序)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>(整備内容の具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川の水をゆっくり流す 浄化能力を助ける施設の整備</li> <li>排水水質に応じて負担金を徴収 生活スタイルの変更 工場排水の浄化・再利用 有機栽培の活用 ため池・内湖の活用 市街地の清掃活動</li> </ul> </div> </div>
目標基準の決定	<p>生き物(人間を含む)の高度で多様な利用に基づく水環境目標を設定</p> <p>①水環境目標の設定の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物や植物の生息・生育から見た望ましい水質</li> <li>・心から安心して飲める水を実現</li> <li>・泳ぎ遊べる水を実現</li> </ul> <p>②365日間の毎日を対象</p>